

## 2025年 第11週 (3月10日～3月16日) の感染症発生動向調査情報

### <今週の内容>

- 1 インフルエンザについて
- 2 新型コロナウイルス感染症について
- 3 管内の感染症発生状況（上記2疾患以外のもの）
- 4 県内の感染症発生状況（麻しん）

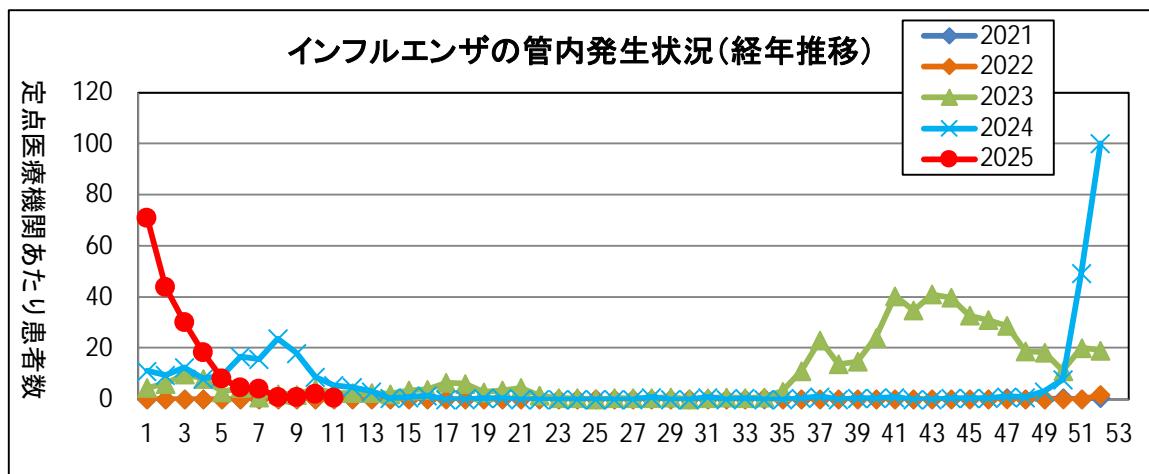
### 1 インフルエンザについて

管内のインフルエンザの定点あたり患者数は、今週0.33人で、先週(2.00人)から減少し、兵庫県内の定点あたり患者数は今週2.38人で、先週(1.88人)から増加しました。

直近の5週間に県内の定点医療機関から報告された患者1,794人の年齢分布では、5～9歳が40%、10～14歳が24%で、15歳未満が全体の81%を占めています。

また、県内の学校等において、今週30件(先週28件)の臨時休業が報告されています。

インフルエンザの予防には、ワクチン接種、手洗いが有効です。また、感染が疑われる場合は、マスクの着用、咳エチケット、早めの受診が重要です。



### <感染症に関する情報>

#### ◆兵庫県ホームページ

[インフルエンザ疾患の発生状況\(学級閉鎖・集団発生\)](#)

[兵庫県インフルエンザ情報センター](#)

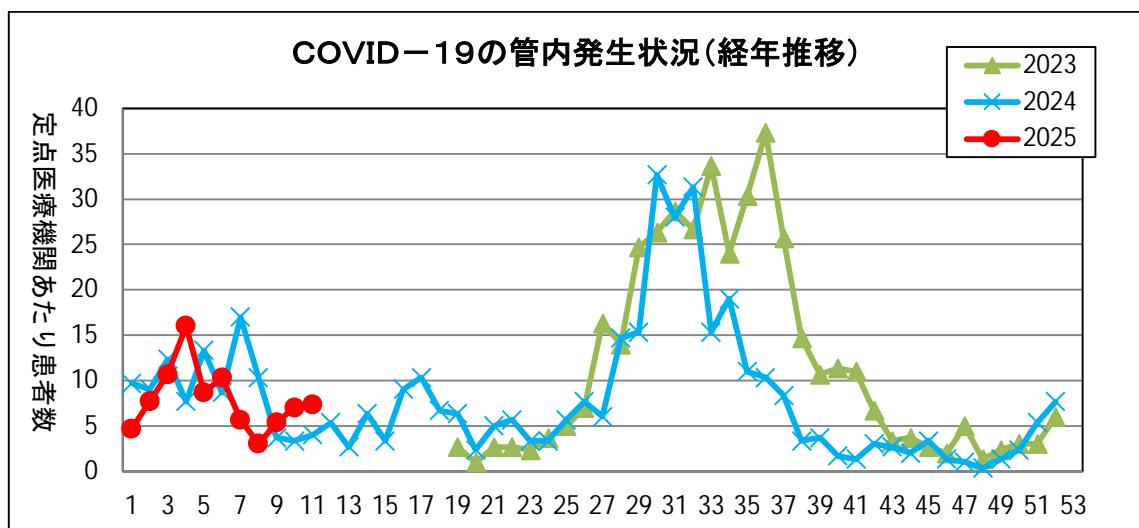
#### ◆国立感染症研究所ホームページ

[インフルエンザ](#)

## 2 新型コロナウイルス感染症について

管内では、定点あたり報告数は今週7.33人（先週7.00人）で先週から増加し、兵庫県内の定点あたり報告数は今週2.52人（先週2.70人）となり、先週から減少しました。地域別では、福崎保健所管内が8.00人と最も多く、当所管内7.33人、赤穂保健所管内5.50人となっており、年齢別では、10歳代が15%と最も多く、次いで50歳代及び80歳以上が12%となっています。

また、県内の社会福祉施設等においては、今週4件（先週9件）の集団発生が報告されています。県民の皆様には引き続き3密の回避、手指消毒、効果的な換気、マスクの適切な着用といった基本的な感染症対策をお願いします。



注) 2023年5月8日から新型コロナウイルス感染症は定点把握になりました。

### <感染症に関する情報>

#### ◆兵庫県ホームページ

[新型コロナウイルス感染症\(COVID-19\)に関する情報](#)

[兵庫県感染症情報センター](#)

#### ◆厚生労働省ホームページ

[新型コロナウイルス感染症について](#)

#### ◆国立感染症研究所ホームページ

[新型コロナウイルス\(COVID-19\)関連情報ページ](#)

## 3 管内の感染症発生状況(新型コロナ以外のもの)

(1) 管内の全数把握感染症(すべての医療機関から報告を求める感染症)

第11週は、梅毒が1件報告されました。

(2) 定点把握感染症(指定された医療機関から報告を求める感染症)

(2025年11週) ※定当: 定点当たり患者数

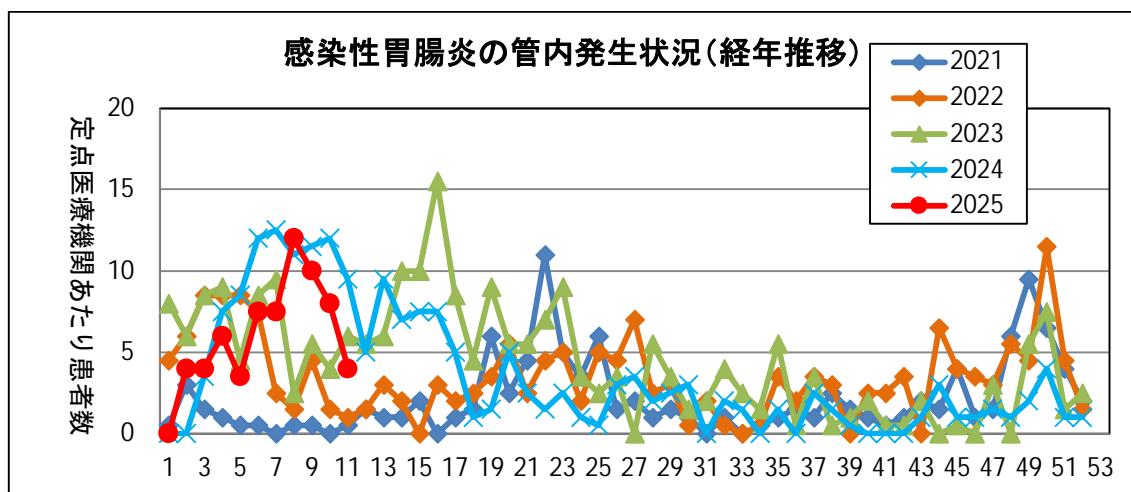
インフルエンザ	RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		COVID-19		
報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当		
1	0.33	-	-	-	-	3	1.5	8	4	-	-	-	-	-	-	1	0.5	22	7.33

ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性瞼膜炎	無菌性瞼膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎4(ロタウイルス)
報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告
-	-	-	-	...	...	...	-	1

管内では、感染性胃腸炎の定点あたり患者数が4.00人で、先週(8.00人)から減少し、兵庫県でも12.50人で、先週(13.98人)から減少しました。

また、県内の社会福祉施設等においては、今週8件(先週6件)の集団発生が報告されています。

トイレの後や、調理・食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗うようにしてください。また、便や嘔吐物を処理する際は、使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用し、処理後は石けんと流水で十分に手を洗ってください。カキなどの二枚貝を調理する際は、中心部まで十分に加熱してください。



#### <感染症に関する情報>

##### ◆兵庫県ホームページ

[感染性胃腸炎\(ノロウイルス等\)について](#)

##### ◆国立感染症研究所ホームページ

[感染性胃腸炎とは](#)

## 4 県内の感染症発生状況(麻しん)

県内において今週1人(宝塚保健所管内)の麻しんの報告がありました。麻しんウイルスは極めて感染力が強く、約10~12日の潜伏期間を経て発症します。麻しんが疑われる場合は外出を控え、医療機関に事前に連絡してから受診してください。感染予防対策として、麻しん含有ワクチンの接種が重要です。

#### <感染症に関する情報>

##### ◆兵庫県ホームページ

[麻しん\(はしか\)について](#)

##### ◆国立感染症研究所ホームページ

[麻しんとは](#)